

マーケットの動き（2025年4月7日～4月11日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。

9日にトランプ米大統領が相互関税の一部について90日間の停止を表明すると円売りが広がりました。その後、対中関税の引き上げや中国による対米報復関税などを受け、米中間での貿易摩擦への懸念から米ドルを売って、円を買う動きが優勢となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2025年4月）

円に対して米ドル、ユーロともに弱含む

米ドル：米国では関税政策の不確実性が景況感に影を落とす中、日銀による追加利上げ観測を背景に、ドルは円に対して弱含むとみています。

ユーロ：ドイツ政府による財政規律の緩和やECB（欧州中央銀行）による利下げ姿勢と域内金利を巡り上下の材料が交錯する中、日銀による追加利上げ観測を背景に、ユーロは円に対して弱含むとみています。

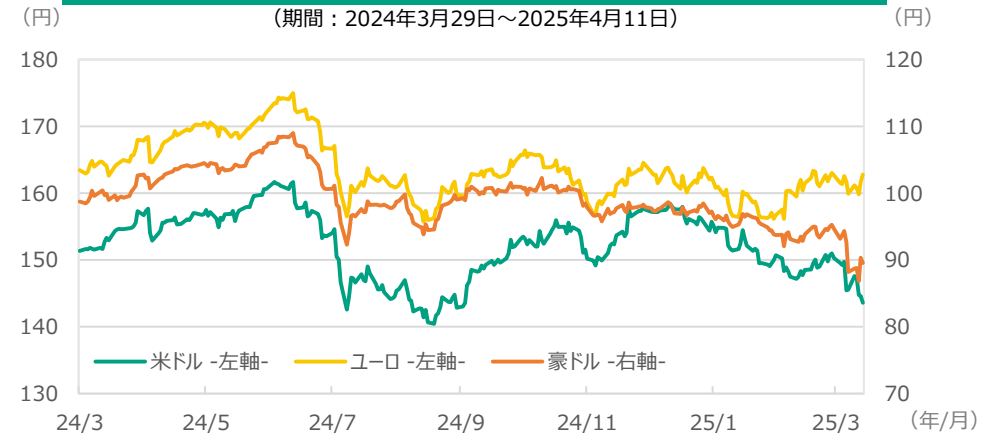
	4月11日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	143.58	▲1.95	▲3.91	▲5.68	▲9.70
ユーロ/円	162.80	2.88	1.64	▲0.56	▲1.30

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

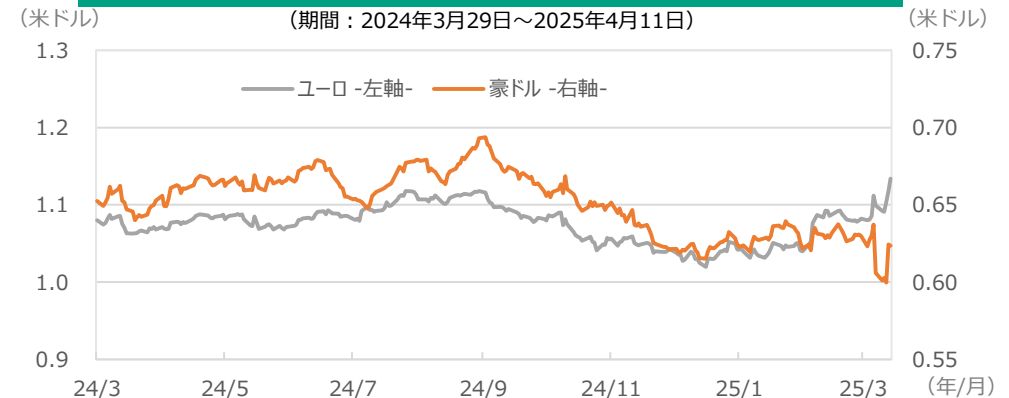
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202504_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>